

事業名	藻類養殖漁場環境調査
予算区分	
事業実施期間	(継続事業)
担当者	(環境増養殖担当) 朝田健斗、棚田教生、笠井謙太郎、嵐俊右、廣澤晃
共同研究機関等	

<目的>

鳴門市北灘町～阿南市中林町地先のアマノリ及びワカメ養殖漁場において、養殖期間中の水質環境を調べ、漁業者が適切な養殖管理を行うための漁場環境情報を提供する。

<方法>

ノリ・ワカメ養殖漁場周辺に設定した調査地点(図1)において、2022年10月から2023年3月までの原則火曜日に調査を実施し、採水した表層水について、無機溶存態窒素(DIN)濃度や塩分の測定と植物プランクトンの計数を行った。

<結果>

各調査地点におけるDIN濃度及び塩分の測定結果のコンター図を図2、図3に示した。また、図4、図5に *Coscinodiscus.wailesii* 及び *Eucampia.zodiacus* の出現状況を海域別に示した。

<今後の課題>

特になし。

<次年度の計画>

継続。

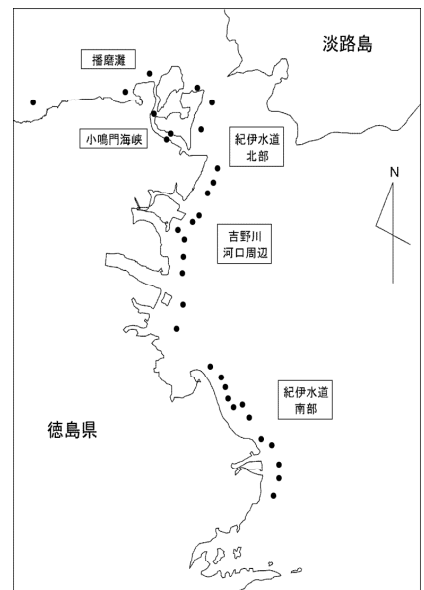


図1.調査地点図

<結果の発表・活用状況等>

調査結果は、速報として関係漁協に情報提供するとともに、水産研究課のパソコン及び携帯電話向けホームページに掲載した。また、本試験の詳細は「令和4年度漁場環境改善推進事業のうち栄養塩からみた漁場生産力回復手法の開発」成果報告書を参照されたい。

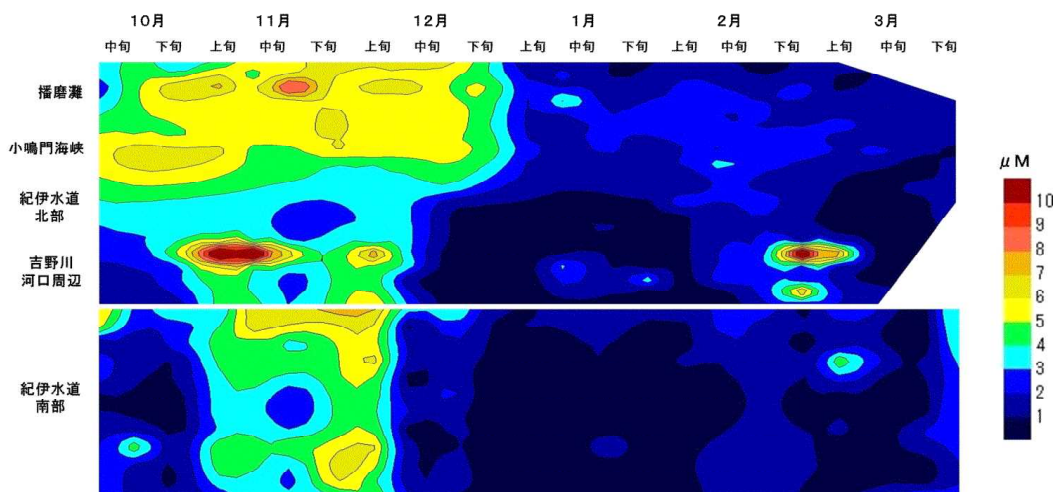


図2.2022年漁期のDIN濃度(µM)のコンター図

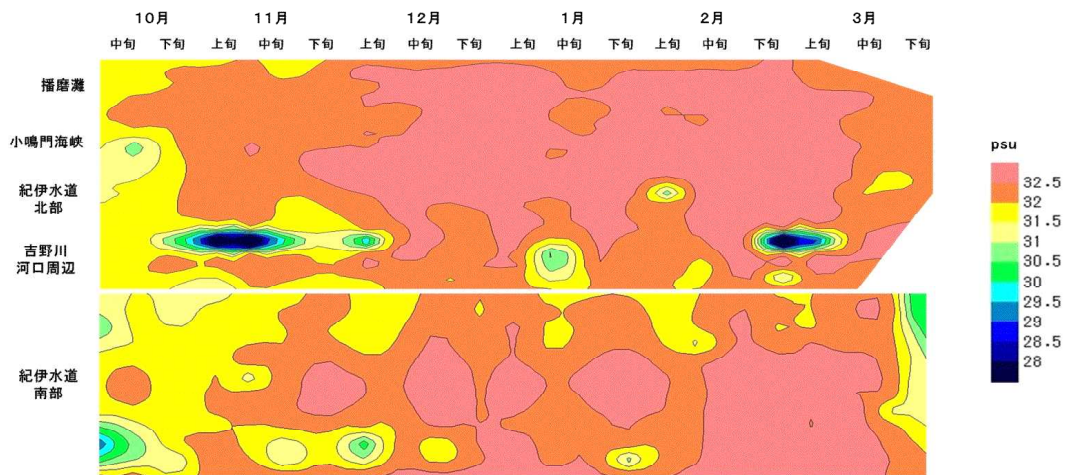


図2.2022年漁期の塩分 (psu) のコンター図

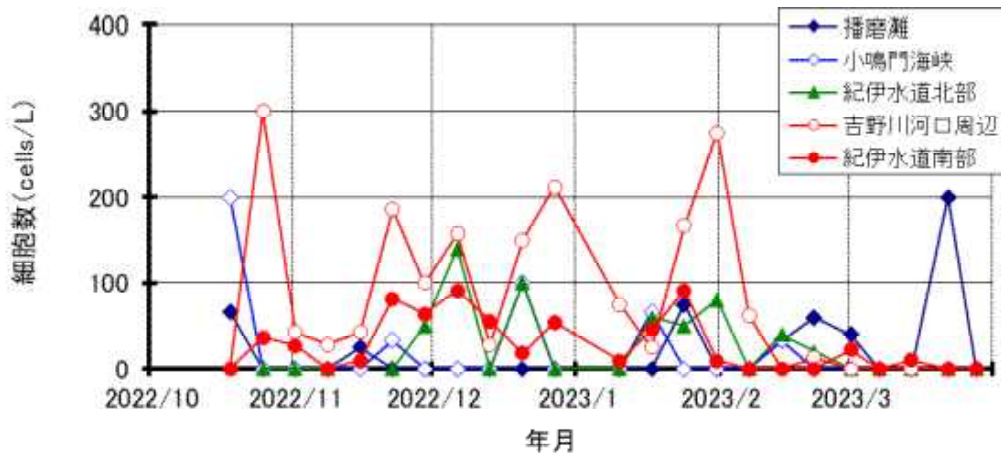


図3.各海域における*C. wailesii*の細胞密度の推移

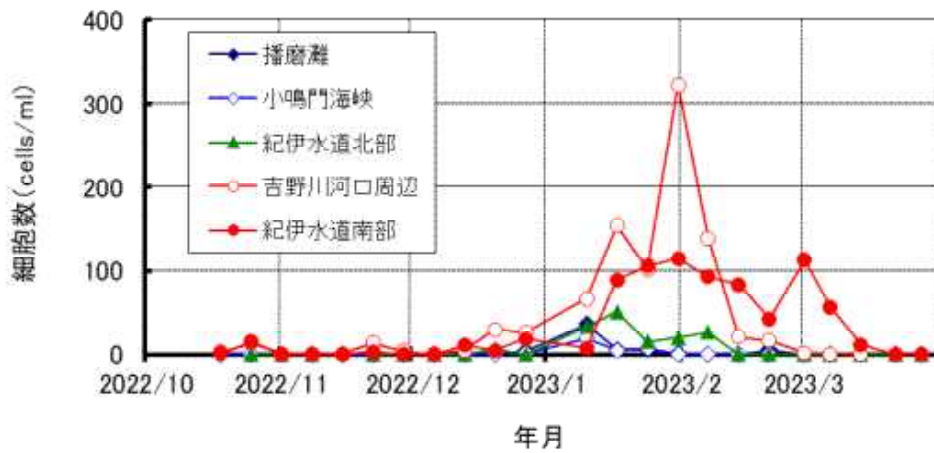


図4.各海域における*E. zodiacus*の細胞密度の推移